産業建設常任委員会　継続調査　　令和 2 年 10 月 16 日金曜日

橋口正人

東市来支所第 2 会議室

オリーブ部会役員との意見交換会　　オリーブ部会　会長　室屋・山口・　　・里園

4 人の方と意見交換をした中でみんなの意見はほぼ同じようでした。

オリーブ栽培の難しさ肥料は年 3.4 回掛ける、薬は 7.8 回の方もいるが 10 数回の方もいる、受粉時期に雨が降ると受粉が難しくなる、木の成長が早いため根が張らずに台風のたび倒れる、支柱も 1 本ではなく 3 本しなくては台風対策にならないなど、今回参加された農家の方ではこの数年間で一度も利益を上げた方はいないとの事でした。

市が奨励した事業であるので、補助金を出して栽培農家を助けてほしい。

今回、5 月の集中豪雨時に受粉した、吹上のオリーブ農家へ現地調査をしたおり、何本植えて、何キロ今年は取れる予定かとの質疑に 70 本植えているが今年の収穫量はおおよそ 100 kgの予定であるとの答えがありました。

100 kgというと実質 8 万円の利益ではないがとうてい生活はできないものと委員は理解したと思う、肥料代・薬・人件費等を考えると委員会でのこれからの審議は非常に大切になってくると思いました。

サッカー場下付近松林調査

10 月 3 日に吹上サッカー場がオープン致しました、今回の台風後、し現地を数名の議員と調査して原因はサッカー場ではないか、など心配な点があったため今回、海岸防災林の現地調査になり農林水産課と共に調査しました。

調査の結果、何十年も前からここの松林は水たまりができていて心配をしていたが、この度、国土防災技術株式会社の熊本支店長を始め、第 1 回海岸防災林整備事業調査業務(吹上浜地区)現地検討会・検討委員会が設置されました。

26 日に吹上浜現地検討会・28 日宝山ホールで分科会、海岸林の調査・検討を行い海岸林の排水不良による松たち枯れ被害や松枯れは等による海岸林の再生・整備方策を検討する会に日置市からも農林水産課課長が参加されますので、頑張っていただきたい。

加工センター

日吉加工センターでは 2 か所の加工センターがあり、日吉加工グループでは味噌加工を月に 1 回のみそづくりをし、大豆は 1 年分を貯蔵して物産館に収めているとの事でした。

その他にも豆腐・鍋スープ・めんつゆ・焼肉のたれ等が主な商品である。

1000 万円以上売り上げているがとの質疑に、昨年も 50 万円ほど赤字であったが立ち上げ当時の資金から補っているとの答弁。

飯牟礼加工センターでは飯牟礼物産館に出す商品を月曜日は休館日などで以外の午前 6:30 分から午前 8:30 分まで 4 人で作っているが大変である、商品については物産館の人に臨機応変に半額は対応してほしいとお願いしているとの事でした。